

# ふれあいだより

第4号 (平成19年3月1日)

発行 山田校区ふれあい協議会

## 自転車・歩行者道に 電車線の跡地利用

黒埼地区連合自治会と山田校区ふれあい協議会ははじめ同地区の4ふれあい協議会は、「黒埼地内新潟交通電車線跡地」について、2月

21日、市と新潟交通に対し「歩行者・自転車用道路」にしてほしいと要望いたしました。以下市への要望書についてご紹介いたします。

### 市への要望書

地域住民から「電鉄」の愛称で親しまれ、通勤・通学者の足となっておりました新潟交通電車線の廃止からすでに8年が過ぎようとしています。

この間、代替バス・高速バスの利用やマイカーの普及などの通勤・通学手段が定着するとともに「電鉄」が忘れ去られようとしています。私たちは、赤錆の軌道敷を見るにつけ時代の変遷を目の当たりにして感慨深いものがあります。

最近では、雑草の繁茂や除草剤散布に伴う環境問題、砂利の散乱、老朽化した踏み切り板の危険による苦情などがあり、さらに、一部民家における駐車場所、花壇、物干し場としての利用が散見されます。

このような状況が今後も継続することは、まちづくりや景観のうえから好ましいことではなく、安全上も懸念を抱いています。私たちはこの問題を喫緊の課題として認識しており、早急な対応が必要と考えています。

「新潟交通電鉄線跡地利用」については、合併前の旧黒埼町において自治会や各種団体等の意見を踏まえ、平成12年3月に、自転車・歩行者道としての利用を骨子とする「新潟交通電車線跡地利用構想」を取りまとめたところであり、地域住民として、現在もその考えに変わりはありません。

市民の健康づくり、教育環境の整備、花をテーマとしたまちづくりなど地球環境にやさしい地域づくり、さらに観光面での効果も期待できる自転車・歩行者道は、政令市・新潟の今後のまちづくりを先導する都市施設と確信します。

また、完成後は、市と連携しながら活用や管理面でコミュニティの力を発揮できるものと考えています。つきましては、景観上、安全上からさらに無秩序な利用を防ぐためにも早急に貴市において用地を取得し、自転車・歩行者道として整備くださいますよう要望いたします。なお、整備にあたっては、地域住民の意見も取り入れていただきたく重ねて要望いたします。



ppk運動ってご存知ですか？

“ピンピンころり”と言うんだそうです。こんなユーモラスな挨拶で始まった[ふれあい健康教室]が2月26日、柳作公民館で開かれました。参加者はざっと50人、ご年配の女性が圧倒的でしたが、なかには元気そうなおじいさんもちらほら。

一方、先生役の保健福祉センターの保健師さんは、孫の世代のような澆刺とした娘さんたち。

### 加齢現象吹っ飛ばせ

まずはメタボリックシンドロームと加齢現象克服についてのお話。お腹回りを計った皆さんの多くは、見事？シンドロームの基準をオーバーして苦笑い。

健康を維持するには「運動と食事がたいせつ」と指摘され、今度は体力測定、開眼片足立ちを試みましたが、120秒以上続けて「大変よい」の評価を得た人も。

最後に健康づくり運動の指導を受けて和やかに閉講しました。

## ネットの落とし穴から脱出せよ

インターネットやメールは便利さと背中あわせに危険性が潜んでいます。

保護者は子どもがどのようにネットと付き合っていくべきかを理解し、子どもは危険から身を守る具体的な対処法を学ぶことにより、ネット犯罪に取り込まれることがなくなります。

現代を反映するネットの世界を、分かりやすい解説と楽しい「ネットをやさしく噛み砕き、ネットの「便利さ」とその「落とし穴」の理解につなげます。

### 親子とも「付き合い方」学ぼう

日時 三月二十五日(日)

午前十時～十一時半

会場 黒崎市民会館 ホール

講師 柳 弘紀(東京アカデミー)

出演 濱田マ助と蘭丸陽一

テーマ ①ネットスキルの世代格差

②ワンクリック詐欺

③個人情報流出

④ファイルタリダ

主催 黒崎地区青少年育成協議会